



赤磐

創刊号

市議会だより



も く じ

平成17年度 予算可決	2P
6月定例会	
委員会のうごき	7P
一般質問	11P
赤磐市議会初議会	20P
5月臨時会	
議員紹介及び委員会構成	22P
議長挨拶	24P

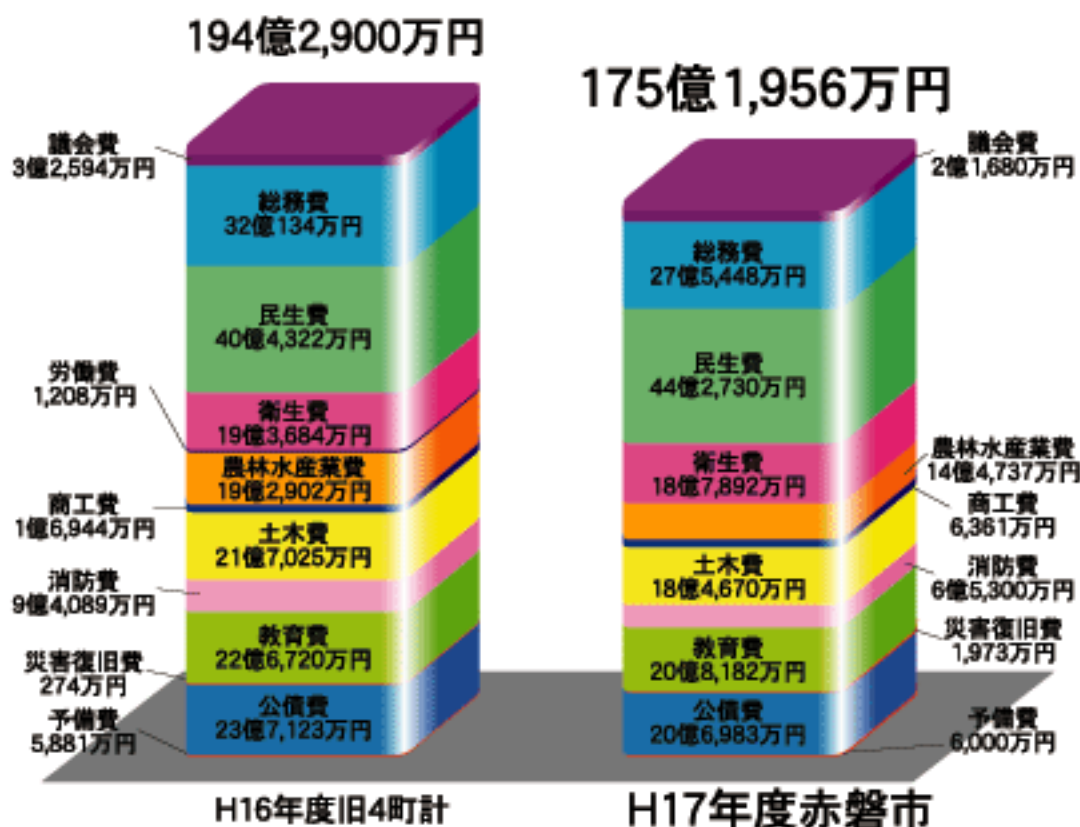
前年比 **19億944万円減**
(マイナス**9.8%**)

当初予算**175億1,956万円** 賛成多数で可決

歳出

平成17年度及び平成16年度(旧4町当初予算計)の比較

議会費33.5%減



一般会計

国の「三位一体改革」による補助金や地方交付税の減少、税収の伸び悩みにより厳しい財政状況の中でのスタートであった。

市として一体性のあるまちづくりを進め、合併によるスケールメリットの実現のために事務事業の統合を図るとともに、合併による行政サービスの低下を招かないよう予算編成を行った。(市長施政方針から)

この予算編成は、荒瀬市長の「高度・多様化した行政事務に対応できる職員育成や適正配置、電子自治体の構築などに取り組み各種公共事業の見直しに努める(市長所信表明から)」とごう行政改革への二歩である。

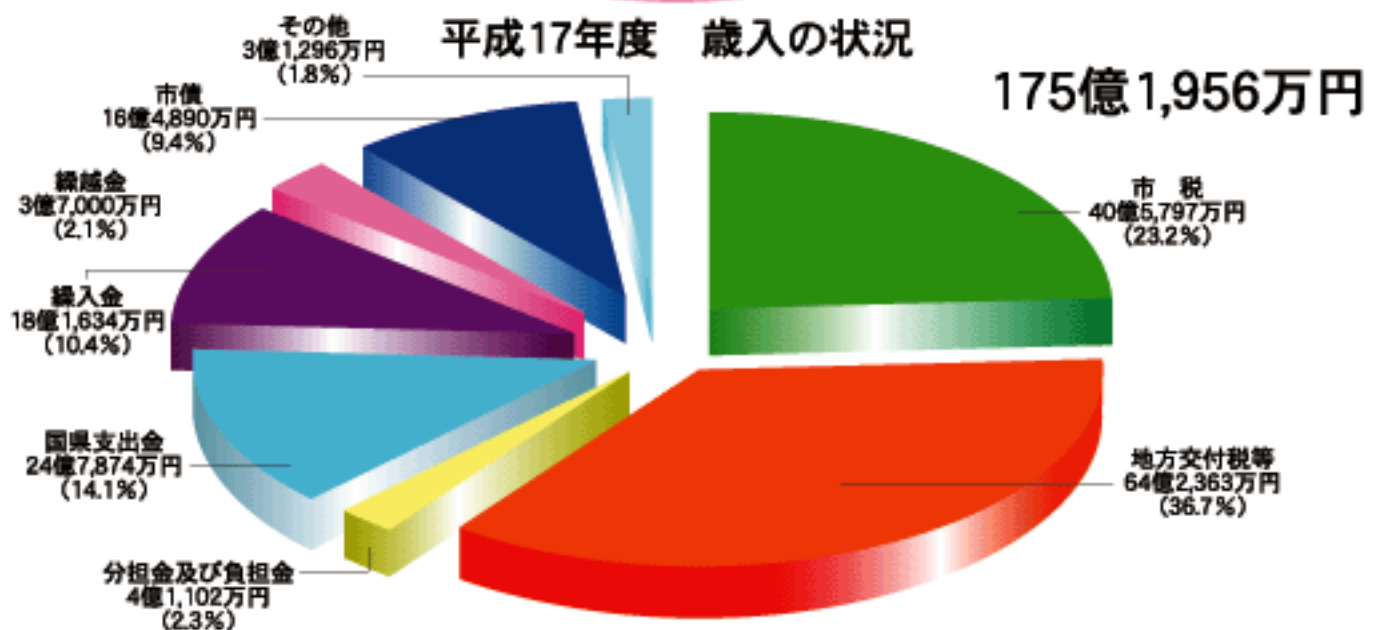
主な事業

事業名	事業額	備考
地域公共ネットワーク整備事業	3億6,155万円	
ファイリングシステム・文書管理システム導入事業	2,667万円	事務の統合化
総合計画策定事業	951万円	赤磐市の基本計画策定
行財政改革大綱策定事業	543万円	
国体対策費	1億1,794万円	
生活保護費	4億4,993万円	新たに市の事務となったもの。
乳幼児医療費事業	1億2,067万円	対象を小学校就学前までとした。
学校施設耐震補強事業	4,828万円	

合併元年 緊縮 予算

平成17年度一般会計

歳入



■会計別予算規模

会計名	予算額
一般会計	175億1,956万円
特別会計	153億9,679万円
国民健康保険特別会計	37億 221万円
老人保健特別会計	45億4,632万円
介護保険特別会計	27億 660万円
居宅介護支援事業特別会計	2,845万円
訪問看護ステーション事業特別会計	1,665万円
簡易水道特別会計	4億 989万円
下水道事業特別会計	38億6,422万円
宅地等開発事業特別会計	5,715万円
竜天オートキャンプ場特別会計	1,818万円
田原用水特別会計	348万円
土地取得特別会計	1,223万円
墓地事業特別会計	2,509万円
財産区特別会計	632万円
公営企業会計	20億4,237万円
水道事業会計	11億9,295万円
熊山病院事業会計	8億4,942万円
合計	349億5,872万円



議長席から見た議場風景

6月議会の あらまし

議案審議

6月議会定例会を、6月8日から28日まで、21日間の会期で開催した。報告案件4件を承認、議案29件、発議5件を可決した。また、請願3件のうち2件を採択、1件を不採択とし、人事案件2件を審議した。

助役は2人に 収入役は置かず

問 助役を二人にする理由は何か、一人でいいのではないか。

答 道路改良事業や広域公共ネットワーク事業など、大規模ハード事業も始まり、助役一人では市長の補佐が十分できない。

問 助役を二人にする力関係で問題はおきないか。

答 二人制で役割分担を考えている。一方は、財政基盤の強化を図るための行財政改革担当、他方は、市民生活、保健福祉、社会福祉事務所、産業建設、上下水道等の担当を考えている。

問 助役を二人にすると

差額で8万円増、年間で約120万円増となるが市民の納税が得られるか。

答 会計事務のみに限られる収入役を置かず、助役に会計事務を掌握させることで人材能力の活用になり、人件費が増えることよりもその効果は大きい。

問 一方の助役を女性にする考えはないか。

答 男女共同参画の時代であるので適任者がいれば選任したい。

問 助役2人制にする

と派閥はできないか。
答 お互い話し合いをする中で派閥を作らず、バ

ランスを考えながらやっていく。

問 収入役を置かないのは旧町のしごりがあって置けないのではないか。

答 そういうことではなくて、すばらしい赤磐市を創っていくために助役を2人にして、住民ニーズに応えたいと思っ

問 助役と収入役は牽制

機能ではないのか。
答 そうではない。助役の一人が会計部門を担当して、管理監督しながら市政で働いてもらうという

総合計画・行財政改革策定業務

コンサルタント業者へ委託

問 行財政改革大綱策定業務委託料について、中身とそのプロセスの説明を。

答 行財政改革は本格的改革とならねばならない。大綱策定は、外部監査的要素を取り入れてコンサルタント業者に行政診断を受け、行政の肥大化、運営の円滑化等を点検してもらい簡素で効率的な行政運営をめざすものとする。

問 赤磐市総合計画策定業務と行財政改革大綱策定業務はなぜ外部委託するのか。

答 自力策定するのが本来と思うが、今年度中の作成ということで時間もない。コンサルタント会社に委託することで専門的知識と技術の提供が受けられ、効率化が図られる。



労働者から見た議場風景

地域公共ネットワーク構築業務 自設線でネットワーク化

問 ネットワーク構築委託料の内容の説明をしてほしい。

答 従来、本庁・支所間のネットワークは、一部の自設線と情報ハイウェイとで一方向のルートでつながっていた。

通信速度や安全性の面から、環状化された自設線で市内全地域のネットワーク化を図るものである。

それによって地域格差の是正、均衡の取れた情報の共有化を行おうとするものである。

問 電子計算費の契約内容は、随意契約が競争入札か。また委託先の業者はどこか。

答 電子計算費の保守委託料およびシステム保守委託料は、随意契約で既に契約済み。主な委託先は(株)両備システムズと(株)岡山情報処理センターとなっている。

ネットワーク構築委託料は、競争入札の予定である。

下水道料金 料金を統一

問 予算全体の中で、下水道会計が占める比率は非常に大きい。今後の行財政運営に支障はないか。また合併後の下水道料金の調整には、無理があったのではないか。

答 下水道事業は公営企業で、その経営は雨水処理費と汚水処理費に分けられていて、前者は全額公費で、後者は受益者負担の原則から下水道使用料で賄うことになっている。下水道料金の設定に関しては、国の指針に基づき加入率を70%として一般会計からの繰り入れをして調整し、負担公平の原則により料金を統一した。

学校給食施設の修繕は 統廃合も視野に

問 学校給食施設の修繕および統廃合について説明をしてほしい。

答 今回の赤坂地区の改修費用を計上している。吉井地区も耐用年数を経過しているので建替が必要と考えている。

合併に伴い給食センター

下水道整備等調査特別委員会設置

下水道事業を集中審査

目的 下水道整備等全般に関する審査及び調査
定数 26人（議員全員）

人件 案 事

次のとおり、適任、推薦
しました。

人権擁護委員

仲川 翠（桜が丘東）

農業委員会委員

藤原 克己（沼田）
杉本 孝昭（東軽部）
小田 幸輝（弥上）
岡森 裕幸（岡匝）

請願3件をた 審査しました。

請願

一人ひとりにゆきとどいた教育を実現するため義務教育
費国庫負担制度堅持を求める請願書

《採 択》

【請願の要旨】
教育の機会均等と教育水準を保障するために必要不可欠
な義務教育費国庫負担制度適用を堅持するよう、国に働き
かけること。

新たな定数改善計画を早期に策定し、少人数学級の実現
を求める請願書

《採 択》

【請願の要旨】
国が新たな学級編制及び教職員の定数改善計画を早期に
策定し、少人数学級を実現するよう、関係機関に働きかけ
ること。

市長ら特別職の給料と議員報酬の減額を求める請願書

《不 採 択》

【請願の要旨】
財政状況の厳しい中、市長ら特別職の給料及び議員報酬
の減額を図り、市政トップの姿勢を正すべきである。

【賛成討論】川澄章子議員
住民には即、負担増が押し寄せてくる。市長・議員の判
断で財源ができるこの請願には賛成である。

意見書4件を提出しました。

意見書提出

地方六団体改革案の早期実現に関する意見書

【意見書の要旨】

政府は税源移譲など改革案を一部しか実現されていない。
優先して地方六団体の改革案を実施せよ。

【意見書の提出先】

内閣総理大臣、内閣官房長官、郵政民営化・経済財政政策担
当大臣、総務大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長

地方議会制度の充実強化に関する意見書

【意見書の要旨】

住民自治の代表機関である議会の機能の更なる充実と、活
性化を図るため抜本的な制度改正を図るよう求める。

【意見書の提出先】

内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

一人ひとりにゆきとどいた教育を実現するため義務教育
費国庫負担制度堅持を求める意見書

【意見書の要旨】

教育の機会均等と教育水準の維持・向上をはかるうえで
わけて重要な制度である義務教育費国庫負担制度の堅持を
要望する。

【意見書の提出先】

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

新たな定数改善計画を早期に策定し、少人数学級の実現を
求める意見書

【意見書の要旨】

子どもたちにゆきとどいた教育を保障するため、新たな学
級編成及び教職員の定数改善計画を早期に策定し、少人数学
級の実現を要望する。

【意見書の提出先】

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

総務常任委員会

6月20日 総務常任委員会を行った。
報告1件、議案12件、請願1件について、審査した。

助役2人制について

問 女性の登用はあるか。
答 男女共同参画の時代なので十分考えなければならぬと思っているが、今の時点では考えていない。適任者がいれば、今後考慮する。

問 報酬審議会を開き、議会の皆様のご意見を伝えて、審議いただき、その方針を踏まえてから、対応を考えたい。

問 助役を2人とする

と報酬が8万円アップするので、市民感情をふまえて、助役、収入役の報酬をたして2で割るという考えはないか。

答 本会議でも6人の方からご意見をいただき、真摯に受け止めている。先般、報酬審議会の条例も承認いただきました。遅くとも8月、9月には

問 報酬審議会を開き、議会の皆様のご意見を伝えて、審議いただき、その方針を踏まえてから、対応を考えたい。

問 税の滞納解消についてどのように取り組んでいるか。
答 徴収体制は職員3人、嘱託4人、3班で訪問し、粘り強く足を運んで納税意識を促がしている。4月から218件訪問し、5月末現在で525万円徴収している。今後も努力していきたい。

**区長・町内会長の
今後は
平成18年度以降
組織を一本化**

問 行政事務連絡業務の代表者会議を11名で行うということであるが、来年度から一本化が行えるのか。
答 本年度は、現状のままで、18年度以降、組織の一本化を図っていきたい。

国体予算をめぐる

問 国体対策費については、平成17年度暫定予算に組まれ、旧各町では実行委員会が開催され、予算審議が行われている。
答 暫定予算をいただき4月に入り、それぞれの実行委員会が一日も早く立ち上げたいということで、議会の上程、議決前に事業計画、予算案を実行委員会に提出させていただいた。今後はこのようなことのないよう気をつけたい。



山縣ふれあい公館で行われた防火大規模(阿部)

**竜天オート
キャンプ場のPRは**

問 竜天オートキャンプ場の利用者が減少しているとのことだが、今後PRして利用者を増やすのか。
答 現在は通年を営業期間とし、冬季も営業して



シーズンにはどわいをみせる竜天オートキャンプ場(西野)

総合計画の策定は

問 総合計画の策定に当たって、まちづくり審議会を設けるといふことだが、どういふメンバーか。
答 委員は、20人以内で市民、各種団体及び専門的知識を有する者の中から選任する。また、原案を作成する前には現地調査、アンケートなど職員による作業的組織も作る。業者へ丸投げではなく、作業をフォローしてもらうということである。

厚生常任委員会

6月21日 厚生常任委員会を行った。
報告1件、議案8件について、審査した。

福祉バスなどの今後は

具体的に考えていく

問 市内の足の確保を、どう考えているか、旧地域ごとに違う仕組みの福祉バスなどは、従来通りの運行でいくのか、抜本的に見直しをするのか。

答 現在は、地域により福祉バスや巡回バスで運行している。

今後、公共交通機関とも相談しながら、何らかのサービスの提供を、具体的に考えていく。

問 今後運行計画等策定に当たって、住民を含めたプロジェクトを作ったかどうか。

答 専門の部、課を新しく作るのではなく、どこかの課に担当させる。



山陽地域の福祉巡回バス

**見直せないか
国民健康保険税
公共料金の平等を**

問 国民健康保険税が全市内一気に統一されたが、大幅に保険税が上がった地域もあり住民の不満がある。

段階的に調整することはできなかったのか。

答 合併協議会において協議をしている。同一市内で公共料金に違いがあれば、他の不満も出る。段階的に調整することは無理である。

**遠くなった乳幼児健診会場
来年度以降に考える**

問 3才までの乳幼児健診が、本庁保健センターのみになり、遠い吉井地域などから苦情が出ているが、今後の対策はどうか。

答 健診時に、保健師が山陽地域以外のお母さん方から意見を聞いていますので、その意見を来年度以降に反映させたい。

**塵芥処理委託料
ダイオキシシン類測定は
環境値クリアしている**

問 塵芥処理費に桜が丘清掃センターのダイオキシシン類等測定分析検査委託料1805万3千円が計上されているが、何回分の検査が含まれているのか。またその結果はどうであったか。

問 塵芥処理費に焼却灰処分委託料4058万9千円が計上されているが、委託業者及び業者選定方法についての説明を。

答 ダイオキシシン類に係るものについては、年に1回、その他については年4回程度必要に応じて実施している。昨年度は、いずれも環境値をクリアしている。

答 奈良県の民間業者へ最終処分を委託している。焼却灰は一般廃棄物であり、平成13年当時民間の処分場は県下にはなく、県外業者に委託していた。契約するにあたり単価調査を行った結果、一番安価であったため引き続き委託している。

**ミニデイサービス
事業の現状は**

現在山陽地域で
2業者に委託



山陽地域のミニデイサービス

問 山陽地域で実施しているミニデイサービスを委託している業者に対し、日頃の指導をしたり、その効果を確かめているか。

答 登録者162人で年間276回の開催をしていて、業者とは随時打ち合わせ会をしている。運営方法についても、担当者や業者が共通認識を持つよう定期的に行っている。委託料については利用状況の報告を受けてから支払っている。

産業建設
常任委員会

6月22日 産業建設常任委員会を行った。
報告4件、議案10件について、審査した。

下水道整備の現状と今後

赤坂地域も計画へ

問 下水道整備の現状と今後の計画はどうか。

答 下水道の整備率は熊山地域は公共下水53・5%、農業排水100%、吉井地域は公共下水84%、山陽地域は公共下水62・5%（山陽・桜が丘西だけ）となっている。

山陽地域については平成30年度を目標に公共下水道整備を進めているが、

長期間を要するので、不公平感が出ないよう地域住民の皆様にも十分説明する。

赤坂地域については、合併を機に山陽地域と合わせて経済的効果的な計画を早急に策定する。

今後の住宅政策は

問 市営住宅の建て替えはないのか。入居可能住宅は少なく、老朽化した建物を放置するのは危険ではないか。

答 今年度に建て替え予算は入っていない。建て替え・住み替えの長期計画

を立てたい。

問 赤磐市過疎地域自立促進市町村計画（平成17年度から平成21年度まで）にも建てる計画がない。総合計画策定の中で、住宅政策を再考できないか。

答 過疎計画・総合計画の中で、住宅の建て替え・住み替えをする。

風倒木被害の対策は

危険なところは早急に対応

問 昨年の台風による風倒木被害の対策はどうか。

答 市として予算化はしていない。県の予算の中で対応する。

問 道路上に落ちそうな風倒木が放置されている。県・市で早急に対応すべきではないか。

答 再度調査し、危険なところは早急に対応する。

熊山英国庭園の管理委託は

問 熊山英国庭園管理委託料1900万円は高額であるが、今後は、どうなるのか。

答 第三セクターに人件費、公園維持管理費として補助しており、平成16年度に2400万円から2000万円に引き下げし、入園料を取りながら毎年100万円引き下げの予定である。

管理は専門家に委託したらどうか。

答 経営内容について勉強し、前向きに検討したい。

農地の荒廃対策は

問 農地の荒廃についてどうか。

答 農地の荒廃が続く、担い手の育成が進んでいない。農地はつらつ集積事業による農地の預かりや中山間地

域直接支払交付金による棚田地域助成に加え、農業公社的なものも考え、積極的に農地を守る。

水道料金の設定は適正か

見直さず

問 独立採算の水道会計に一般会計からの繰入金を入れている。赤字になる水道料金設定は適切でないのではないか。

答 合併時に料金を統一

したのは、住民の不公平感を解消し、新市の一体感を高めるためである。3・5年間料金の見直しはしない。

問 現在の委託先との契約を止め、地元の施設として地元へ委託し、花の



建設が進む山陽浄化センター(立川)



熊山英国庭園(熊谷)

文教常任委員会

6月23日 文教常任委員会を行った。
議案1件、請願2件について、審査した。

備前国分寺跡
両宮山古墳
の調査整備

問 備前国分寺跡及び両宮山古墳の発掘についてはどうか。

答 備前国分寺跡については、公有化は平成14年

度末の段階で、公有化率

約93%でひとまず終了した。

両宮山古墳の発掘調査については、古墳の周囲に外濠がめぐること、陪塚の茶臼山古墳が、帆立貝式前方後円墳であったことが判明した。

本年度は、調査報告書を発行する予定である。公有化については、史

跡指定地の隣接地において民間の開発が計画されているため、その部分については、史跡の追加指定後、本年度中に、該当地の買い上げを行い、その他の指定地内の公有化は、備前国分寺跡の整備

終了後に行う。

また、修繕については、周堤の崩壊が進んでいるため、設計ができしだい、速やかに工事に着手する予定である。

問 今後、両宮山古墳の史跡指定地境界線内で、

今回のような民間の開発が計画された場合は、該当地を先行取得することに決めているのか。

答 両宮山古墳の史跡指定地の公有化は、民間開発等購入すべき事態が発生した段階で、同様に先行取得を実施する。

その他の指定地内の公有化の具体的な計画については、備前国分寺跡の整備終了後に行いたい。

給食センターの
統廃合は
実施すべきである

問 学校給食センターの統廃合について、どのような考えを持っているのか。

答 市内5カ所の給食センターのうち西山地区の山陽学校給食センターを除いては、いずれも老朽化が進んでいる状況である。

給食センターの適正な配置により、効率的な運営や改修を考える必要がある。基本的には統廃合を実施すべきであると考えている。

英語指導助手の実態は

問 旧赤坂町では、中学校だけでなく小学校まで指導を行っており、また、

旧山陽町では中学校のみで、2校兼務で指導を行っているという聞いています。が、実態はどうか。

答 今年度は、旧町ごとの独自性もあり、それを尊重しながら予算編成を

せざるをえないといった経緯がある。

来年度については、適正な人的配置を検討し、学校の特性等も踏まえながら、市としての方針を早急に作り上げ、市民の方にご理解いただける体制をとっていく。

耐震事業は進んでいるか

体育館を優先的に進めていく

問 学校施設の耐震補強事業関係経費について、

耐震診断の委託や耐震補強工事等があるが、市内のすべての学校施設における耐震事業の進捗状況はどうか。

答 校舎の耐震診断等も必要であるが、体育館は災害時に地域住民の避難所にも指定されていることから、各校とも体育館

を優先的に進めている。



両宮山古墳(馬場、和田、穂崎)



耐震工事中の山陽西小学校体育館(山陽)

一般質問

市の考えを問う

14人の議員が登壇し市の考えをたどりました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



問 新生赤磐市の下水道事業をどのように進めるのか

答 説明責任を果たし、新下水道計画をたて完成をめざす

問 公共下水道は、快適な生活環境保持に欠かすことのできない、行政として最重要事業である。財政的にも大変大きな負担となる。

合併を機に新生赤磐市がこの事業をどのような計画で推進していくのか。

第2次整備計画の作成にあたり、下流の瀬戸町や地元立川地区との調整も必要である。

また、住民への説明責任は特に重要である。どのように責任を果たすのか。

答 公共下水道は、水質の保全だけでなく雨水を排除し、安全な町をつくる重要な施設である。

今後、旧赤坂町も含め新下水道計画を早急に作成し、予算の確保に全力をつくす。

市民が同じ恩恵をはや

く受けられるよう努力する。

住民への説明責任は、積極的にを行う。

西山公民館の駐車場を整備せよ

問 西山公民館は、平成

8年開館以来大変多くの方が利用している。駐車場が舗装されていないので、雨天のとき足元が悪く、不便である。

また、施設の管理にも支障がある。

地域ぐるみとのかかわりもあるが、長年の懸案であった舗装整備を早急にすべきではないか。

市民が同じ恩恵をはや



佐藤武文議員

答 桃の里地域ぐるみ盆踊りの会場として使用している関係で、舗装は見合わせてほしいとの意見もあった。

昨今の要望に対し、地元の方々の意見を尊重し、早急に対応する。



西山公民館駐車場(西中)

表紙のひとこと

城山公園を赤磐市「北の玄関口」のシンボルに

6月3日赤磐市全域への理解を深めるため、議員全員で市内の公共施設を視察しました。城山公園は周匝（古井地域）の北西に位置する茶臼山城址の城型展望台を中心に、行政と地元ボランティアの協力の下に整備されています。眼下には古井川・古野川の合流地点、周匝平野をはじめ対岸の美しい山々を見ることが出来ます。さくら祭りや城山公園祭りの時だけでなく、桜・新緑・観月・紅葉と年中すばらしい景色が楽しめます。ぜひ、度々訪れてください。

(井上 稔朗)



問 図書館建設は長年の悲願、一日も早い建設を

答 今年中には、住民の参加を得て基本計画を



縦野志郎議員

問 旧山陽町において図書館建設は長年の悲願であった。合併で庁舎も手狭で駐車場もたりない。解決策として図書館建設計画を具体的にお聞かせ頂きたい。

答 図書館建設は計画段階から住民の参加を得て、基本コンセプトを今年中に定める。

談合防止対策をせよ

問 旧山陽町で談合情報どおりの落札があった。議員の中には、談合は必要悪だと言っている者がいるが、横須賀市の様にインターネット入札など談合防止策を考えられないか。

答 談合問題は真実でも色々考えており、談合社会を作っては絶対駄目だと考えている。

私も十分研究をして厳

しく対応して参りたい。

随意契約を減らせ

問 5月議会でも市長から随意契約は減らすと答弁を頂き、選挙時に元

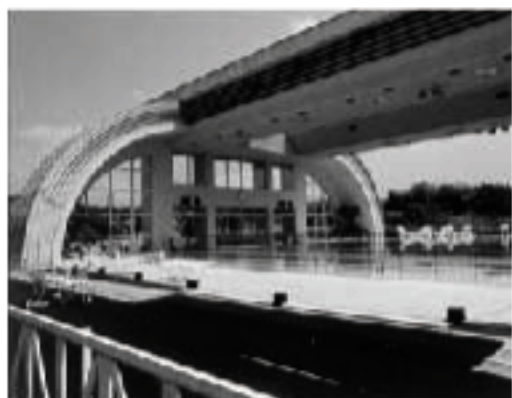
町議のレポートにも書かれていたが市長の見解は、随意契約は、運用を誤れば契約の公正を失い経費負担が増大する事もあり、運用を適正にすることは当然である。

**プールを
利用しやすく**

問 下市のOSKが閉鎖されたが、ふれあい公園のプールを会員制にするなど利用しやすくせよ。

答 吉井のB&G財団プールでも会員制で人気が良かったのでご意見に沿って取り組んでいきたい。

今後は利用者



山陽ふれあい公園プール(岡谷)

の意見を聞きながら利用率を上げるよう、十分職員の意識改革を図りたい。

問 赤磐市災害対策組織はどのような体制か

答 災害対策本部を置き、班編制し活動する



下村 脩議員

問 災害対策本部の基本的な組織編制は。

答 赤磐市地域防災計画ができるまでは、災害対策基本法に基づき、市長が本部長となり、旧四町の地域防災計画を準用する。

各部や各支所ごとに班編制をし、各部長や支所長が班長となる。消防班は、消防団長、方面隊長が班長となる。

問 初動態勢が重要である。現地対策本部の立ち上げは、いつの時点か。

また、現地対策本部長は、緊急な財政支出執行権を持つか。

答 現地対策本部の設置は、状況により判断する。財政支出は、緊急を要することなので現地の状況を把握している現地対策本部長が執行せざるを得ない。

問 各支所の職員が減少している。現地での対応は、どう考えているのか。

答 初動活動は、各支所で従来通り可能と考えている。人員や資材で不足が生じれば本庁より応援する。

問 消防団の各方面隊間の相互応援体制は。



水防訓練をする消防団員(日古木大池)

問 旧町単位に方面隊長が統括指揮を行い、団長が連携調整をし、状況により他の方面隊から応援をする。

答 旧町単位に方面隊長が統括指揮を行い、団長が連携調整をし、状況により他の方面隊から応援をする。

問 住民への情報伝達が重要である。組織の中に広報は組み込まれているか。

答 総務班が担当する。各支所にも義務づけており、防災無線や広報車により行う。消防班も、広報や避難誘導を行う。

防災体制は、市職員だけでは限界があり、地元自主防災組織の育成をして、共同で防災活動に努めたい。



赤磐市特産品のこれ里ワイン

問 平成10年に旧吉井町で発生した台風災害の被災者への災害援護資金は給付が、貸付か

答 災害援護資金は、貸付である



北川勝義議員

問 初代市長おめでとうございます。しかし、過半数は支持されていません。その事を考え、市民のための行政をお願いします。

「災害は忘れた頃にやってくる。」という諺があります。平成10年の台風災害を忘れていないと思います。国庫の補助と地権者の協力もあり、大部分完了していますが、いまだ、吉井川、滝山川の堤防は暫定で完成しておりません。また、水路関係で昨年も被害がありました。また、旧吉井町では災害被災者の会をい

当時の荒嶋町長は「被災者の会はもう一つできるから話ができない」と言われ、交渉のテーブルについていただけませんでした。もう一つの被災者の会は、できたのですかまた、災害資金は、無償か、有償か。その件については話し合いをすると言っていたが、どうなっているのか。法的手段を取っているとの事であるがなぜか。

次に、入札制度をどのように考えているか。私の考えは、極力、市内の方で指名入札を実施したい。

市営住宅の老朽化問題、農業振興（直売所・ワイナリー・特産品・特用林産物等）、英国庭園、福祉タクシー、バス運行、市内の交通網、さらにケアハウスの元利償還助成

金をどのように考えているか。お役所言葉でなく、はっきりした答弁をお願いします。

答 バス運行については、安全管理も契約に入れているが、契約を再度見直して要望にお答えする。

ケアハウスの元利償還助成金は、自己資金が1億592万円要するために町が借り入れ、特養も町費負担部分なので借り入れて償還している。

是里ワイン醸造場が指定管理者、ご理解いただきたい。

問 聞いたことについて答弁を求めましたが聞きたい内容が答弁していただいていません。ご意見は充分わかる、ご要望にお答えする、など明確な答弁をしていただけずお役所ことはで終わりました。極めて残念です。

問 市内各施設の財政見直しをせよ

答 行財政改革大綱の策定を指示



小田百合子議員

問 5月臨時議会において市長は財政を見直すため、市内各施設の精査をしていくと誓えられた。早急に着手しなければならぬと考えるが、市長はもう指示を出したのか。また、一般財源から毎年赤字補填をしている施設の詳細が分かる資料を、今後の見直しを含めて作成されたい。

答 すでに行革担当の企画課へ行財政改革大綱の策定を指示した。施設の一般等の資料は、費用対効果を見る指標として、現状を調査し決算認定の九月議会の時期までに作成する。

男女共同参画

について

問 男女共同参画施策の今後の実施計画は、今年度に具体的な案があるのか。また、少子高齢化対策等に女性の知恵を引き出すよう、重要ポストに女性の起用や昇格を求め

答 男女共同参画には、担当を設けており積極的に取り組んでいく。住民ニーズの把握による一層の推進強化をしたい。女性の起用については、あらゆる分野における、活動に参画できる機会を確保していきたい。





学区を隔てる市道(桜丘中学校)

問 小学校、中学校の区割りを早急に見直すべきでは

答 早急に実施の見通しを立て進めたい

問 合併の大きなメリットの一つとして、まず小学校、中学校の区割りを

問 高校誘致が望めない現在、学区制を早急に外していた

答 これは県の方へも十分要望を申し上げる。本当にこの



松田 勲議員

早急に見直すべきだと思

答 今後の学区については、まず通学の利便性、安全性、さらには地域とのつながり等々、様々な角度からこの合併を契機として、将来の本市の教育行政を見据えながら、検討実施したい。

学区制は、もう必要ないのではと感じている。できる改革はやっていかなくはならないと思うので、県へ対して強く要望したい。

接遇マナーの向上を

問 本庁をはじめ各支所、関連施設の職員の対応について、市長はどう思うか。接遇マナーも含め、職員の対応の向上に努めて行くべきではないか。

答 職員、我々が一丸となって、これから住民サービスに心がけて頑張りたい。

問 スポーツ少年団をはじめ、青少年健全育成に、また限らない可能性を持った子供たちのために、もっと力強い支援を考えていくべきではないか。

答 交流事業等促進しながら、指導者・リーダーの育成交流に努め、赤磐市のスポーツ発展のために寄与したい。助成すべき点は助成するという考え方で取り組みたい。

問 「乳幼児健診」は各支所ごとに実施せよ

答 専門職確保によりやむなく本庁のみで毎月1回実施する

問 ①少子化問題の一端としての子育て支援をどのように考えているのか。

②乳幼児健診は、各町で実施されていたが、合併後、本庁舎保健センターの1カ所にした理由は何か。

住民サービスを考え各支所ごとに実施すべきではないかと思うがどうか。

答 ①子育て支援センター等の運営、ファミリーサポートセンター事業の助成・乳幼児医療費の助成を行い、少子化対策を



荻田敏正議員

問 一部身体障害者作業所が、老朽化し手狭になっている。

弱い立場にある人を支援する意味から、適当な空き部屋があれば、提供すべきではないか。

答 市管轄の空き部屋が、適地であるかどうか、今

講じている。

②各種健診におけるスタッフを充実させ、専門職を確保し希望者がタイムリーに相談・指導ができるようにするため、やむなく本庁のみで毎月1回実施することにした。

市管轄の空き部屋を作業所に

地域実態に合った交通体系の見直しを

後の課題として、関係者と相談したい。

問 現在、赤磐市では3種類のバス運行がされているが、旧町のままの運行になっている。

今後、地域にあった利用しやすい運行の見直し等が、なされるべきではないかと思うがどうか。

答 バス運行は、地域の実態に即して運行されているので、直ちに見なおす考えはないが、今後、交通体系・運行形態を検討していく中で、住民の意見を参考にしながら協議していく。



保健センターで健診を受ける乳幼児

問 ハザードマップを
早期に作成せよ

答 地形や災害の履歴等を
把握・検証し作成する



海野雅之議員

問 現在、学校施設の耐震診断・耐震工事が進められ、万一の時の避難場所の安全確保が進められている。

住民に情報を知らせ、意識を持って頂く努力ができていない。

県内多くの自治体で作成しているハザードマップ(災害危険箇所や危険度)の早期作成と、全戸への配布を早急にすべきかどうか。

答 地形や災害履歴等の危険性の把握や防災・危険関連施設等の把握をし、地域の皆さんの意見を聞くため、現地での検証や確認をし、順次作成していく。

市長は地域に向いて対話せよ

問 地域の交通問題等多

くの課題を市長自ら各地へ出向いて対話をしてはどうか。

施策を進める上で重要なポイントと思うが、どう考えるか。

答 赤磐市総合計画を策定していく上では必要であり、地域へ出かけての公聴会を考えている。

**英語助手の
適正配置を**

問 旧赤坂町では、英語指導助手による会話やゲ

ームで子どもたちに関わっている。

他の旧3町ではどうか。定期的、継続的実施としてはどうか。

また、学校の空き教室の利用はどうするのか。

答 旧町で差があり、配置については今後、適正に向け努力する。

空き教室については、学校教育以外の用途にも活用しているが、関係機関とも協議し、効果的な活用の推進を模索していきたい。



外国人の英語教室での授業の様子

問 在宅介護支援・医療支援にユビキタスシステムの利用を考えてはどうか。

答 将来的には社会的弱者の救済に必要なシステムだが、個人情報等の安全性の面では不安もある。

問 総務省は、2010年をユビキタス成熟期として捉え、国家プロジェクトとして進めようとしている。

赤磐市も、このような高度情報化社会に沿った

ユビキタスシステムを利用して介護支援、遠距離介護支援あるいは在宅医療支援を図り、高齢者や障害者などの社会的弱者をサポートしていく考えはないか。

そして、その対象となる単身の高齢者世帯はどれほどあるのか障害を持つた人は何人いるのか。

答 将来的には高齢者を抱えている家庭にはぜひとも導入すべきシステムだと認識している。

しかし、現時点では情報管理・送受信の安全性についてはまだ十分な調整がなされておらず、市としては今後の研究開発を見守っていききたいと考えている。

特に医療介護という個人の重要な情報が大量に送受信、蓄積されるものについては、その安全性

問 ユビキタスシステムの
利用は

答 社会的弱者の救済に
必要なシステム



岡崎達義議員

**一
ロ
メ
モ**

ユビキタスシステム・コンピュータ・インターネットがいつでもどこでも、生活の中にとけこんでいる状態の生活様式。



の確保は最重要課題でもある。

次に、赤磐市での一人暮らしの世帯は1544世帯、また障害者の方は1166人で合計で1824人、介護認定を受けている人は1670人いる。

問 太陽光発電の普及を

答 財政状況を考え適切な判断



実盛祥五議員

問 桜が丘東地区の下水処理の今後の対応はどうか。

答 桜が丘東地区は、行政ではなく、管理運営が企業であるため、各種の問題が発生している。市長は、どのように吟味しているか。

答 大和ハウス工業株式会社から赤磐市に移管できるものは移管し、早期に移管できるよう平成17年3月3日に協定書及び覚書を締結している。来

年3月末に移管するとうことで解決するものと考えている。

また、これからできる公共下水道特別委員会等で協議を申し上げながら、諸問題についても協議をさせていきたい。

問 各種の旧4町の税金滞納はいかほどか。

答 平成17年3月4日現在で、町税が2億8370万円、国民健康保険税が3億3152万円である。

徴収事務については、その責任を果たすべく鋭意努力をしている。現在徴収班として職員3人、嘱託員4人を4月1日から配置し、滞納整理に当たっている。

年間計画を立て、公平な徴収に努めていく。

問 住民の福祉向上に必要な財源作りには、市長自身で判断し決断すべきでないか。

答 特別職報酬等審議会等で十分審議してもらって、やるべき時が来たら思い切った決断をして対応していきたい。

水道料金・国保税は3～5年かけて均一化せよ

問 水道料金は山陽地区が下げすぎで毎年赤字に。

国保税は熊山地区の引き上げ額が大きすぎて公平さを欠く状態だ。3～5年かけて均一化してはどうか。

答 水道料金は新市の一体感を図ると共に、負担公平の原則により統一料金にし、国保税は、相互扶助の観点、一体感を醸すため一律とした。



熊山上水道施設(約井水源地)

問 市長等三役の給料減額を決断してはどうか

答 現時点で減額は考えていない



川澄章子議員

問 話し合う場をいつ頃、構成人員・関係参加者等どのように考えているか。

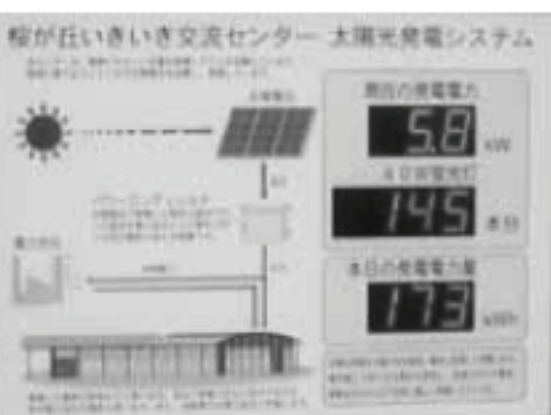
学区見直しの審議会立ち上げを早急に

答 審議会等の設置や組織は具体的には示せないが、本年度中には立ち上げる。

子どもの医療費無料化 更に年令引き上げを

問 各地で年令引き上げがされているが、新たに引き上げは、他に少子化ストップの施策はあるか。
答 財政等十分検討し対応したい。施策は現在行なっている子育て支援事業の推進を図っていく。

問 県も環境に優しい太陽光発電システムを整備している。我が市も各施設に導入を考えてはどうか。
答 また、一般住宅に対して国の補助金が年々減っている。市も補助金制度を考えてはどうか。
答 1997年に京都議定書の合意で、国も太陽光発電を推進している。市の上乗せ補助金については、財政状況等も検討した上で、適切な判断をしたい。



太陽光発電表示板(桜が丘いきいき交流センター)

問 市内全域を対象として
バス運行を

答 バス事業者の協力で、
交通システムを考える



福木京子議員

問 市民の交通手段を確保するため、市内全域を対象としたバス運行を実施すべきかどうか。
また、交通対策など設置して検討すべきではないか。

答 現在ある二つのバス事業者のご協力をいただいて、市内全域を対象とした交通システムを考えていきたい。

また、市役所内部の関係する部・課において検討していく。

地元業者の活用を

問 地域経済活性化のため、小規模工事登録制度を作って、地元業者の活用を計ってはどうか。
市内業者を利用する住宅リフォーム助成制度の創設をどうか。

答 この登録制度での地

元業者の活用は、すばらしい取り組みなので、今後研究し取り組む。
市と県の福祉関係の住宅リフォーム助成制度はあるが、それ以外は、財政事情で対応は難しいがこの方面にも力を入れる。

地産地消事業を進めよ

問 地域農業の発展に、関係機関による組織を作って進めてはどうか。

各学校給食センターでは、地元産品をいくらか使っているが、今後農協とも十分検討していく。

また、地産地消事業を進めるため、青空市への支援や、学校給食にもっと取り入れてはどうか。
答 農業振興として関係機関で市経営生産対策推進会議を開催して取り組んでいる。
各直売所は、アイデアを発揮して自主運営している。



吉井特産館(福田)

問 地場産業の育成を考えた入札制度はできないか

答 育成できるように検討する



下山哲司議員

問 吉井川には、市に關係する井堰が2カ所あるが、出来た経緯、内容に

河原屋井堰について

術・経験・機械等が必要としないものは、地場産業の育成がなされるよう入札方法を検討する。



吉井河原屋井堰

問 市が入札する物品、材料、印刷、工事等は、市内に扱っている業者がある中で、地場産業育成の観点から、市内業者を優先的に使うつもりはあるか。

答 地場産業の育成は、市の重要課題であり、特殊技

違いがあり、田原井堰は農管理と河原屋井堰は地元管理となっているが、河原屋井堰も農管理にならないか。

答 河原屋井堰は、受益が74ヘクタールであり岡匠土地改良区が管理し、田原井堰は、受益が6900ヘクタールであり、国から県を通して吉井川下流土地改良区に管理を委託されている。今後、田原井堰同様県管理になるよう要望する。

排水対策について

問 大雨が降ると、周匝・福田地区にいつも滞水するが、排水機場のポンプの排水能力が十分なのか。

答 番念寺排水機場ポンプは、老朽による能力低下が考えられるので調査中であり、改造を含めて県に要望する。

福田排水機場ポンプは、堤防が高くなったことにより、能力が十分発揮できていないので、発揮できるように関係方面に働きかける。

問

市民一体化に向けての
公共交通対策は

答

担当部課を決め早急に
対応する



鞍山地域の市営バス



藤田圭右議員

問 市民の一体化には、
交通対策が重要であると思
う。主に公共交通である
が、基本的な対策につ
いてどう考えるか。

答 まずは、市民の二
ズを的確に把握すること
が重要であると考えてい
る。
交通対策については、

現在運行している福祉バ
ス等の再編も視野に入れ
現状の運行の実施や今後
のニーズの動向を考慮し
対策を検討する。
また、公共交通機関の
通っていないところにつ
いては、特にバスの運行
等に配慮していく。
問 交通弱者の生活交通
対策の基本的計画はどう
か。
答 現在の交通弱者と言
われる高齢者や障害者、
学生については、合併前
の各町が行っていた事業
を新市に引き継ぎ、実施
している状況である。
基本的にはこれらの施
策を踏襲し、赤磐市とし
て必要な生活交通対策を
講じていきたい。
すべての交通体系の整
備について、住民の意見
を聞き、担当部課を決め、
早急に対応する。

一部事務組合議会議員決まる (敬称略/年令順)

赤磐消防組合

山田 秀士 実盛 祥五 下山 哲司
佐藤 武文 山下 浩史 大口 浩志

和気老人ホーム組合

下村 脩 実盛 祥五

和気赤磐し尿処理施設一部事務組合

森 重信 西山 和嘉 福木 京子
小引 美次

柵原吉井特別養護老人ホーム組合

海野 雅之 西山 和嘉 小田百合子
下山 哲司

和気北部衛生施設組合

武本 一郎 山下 浩史 川澄 章子
北川 勝義

東備農業共済事務組合

実光 守 萩田 敏正 北川 勝義
小倉 博

柵原、吉井、英田火葬場施設組合

西山 和嘉 下山 哲司 井上 稔朗

和気・赤磐共同コンポスト事務組合

藤田 圭右 北川 勝義 小倉 博
松田 勲

6月3日

議員全員で 市内公共施設視察



公共施設の説明を受ける(吉井支所内)

6月3日市議会議員全員で、赤磐市内の主な公共施設を視察した。

支所ごとに所管地域の施設について概要説明を受け、実際に現地を訪問し、現在の施設の状況を把握するとともに、今後の課題などについて協議した。

委員会でも市内所管施設を視察

3常任委員会が、赤磐市内のそれぞれの所管施設の視察を行い、現在の施設の状況を把握するとともに、今後の課題などについて協議した。

6月9日
文教常任委員会視察



吉井郷土資料館(周田)

6月10日
産業建設常任委員会視察



奥古原新池の災害復旧工事現場

7月11日
厚生常任委員会視察



佐伯北診療所(塩木)

初議会 (5月臨時会) 開催

初議会の あらまし

赤磐市議会の初議会（5月臨時会）を、5月10日から19日まで、10日間の会期で開催した。議長・副議長の選出、各常任委員会などの構成を始め、同意案件12件を同意、承認案件58件を承認、発議3件を可決し、人事案件1件を審議した。

議長に山田秀士氏 副議長に武本一郎氏 各種委員会構成決まる

赤磐市議会の初議会（5月第1回臨時会）で、議長に、山田秀士議員、副議長に、武本一郎議員を選出した。

続いて、議員26人の各常任委員会の所属を決め、正副委員長の互選を行った。

その後、議会運営委員会の委員

及び議会広報編集特別委員会の委員を選任し、それぞれ正副委員長の互選を行った。

（関連記事23ページ）

また、各種一部事務組合議会議員を選出した。

（関連記事18ページ）

市議会会議規則・条例を制定

議員発議により、赤磐市議会会議規則、赤磐市議会委員会条例及

び赤磐市議会事務局設置条例を制定した。

（赤磐市議会の常任委員会の名称、委員定数及びその所管）

- (1) 総務常任委員会 6人
総務部、企画部、会計課、監査委員及び選挙管理委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項
- (2) 厚生常任委員会 7人
市民生活部、保健福祉部及び市立病院の所管に属する事項
- (3) 産業建設常任委員会 7人
産業建設部、上下水道部及び農業委員会の所管に属する事項
- (4) 文教常任委員会 6人
教育委員会の所管に属する事項

（委員会とは）

議会の内部組織として、本会議での審議の予備的審査、調査機関として設置される委員会のことをいう。

地方議会は、条例で常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会を置くことができる。とされている。

赤磐市議会では、常任委員会を4つ設置しており、市の仕事を4つに分け、関係する議案や請願等を審査している。

また、議会運営委員会は、議長の諮問等に応じ、会議の円滑な運営方法などについて話し合う。

また、特別委員会は、必要に応じて設置し、現在（6月定例会後）は、2つの特別委員会を設置している。

人事案件

次のとおり、同意、選任しました。

選挙管理委員会委員

難波 暎祥（吉原）
岸本 文雄（神田）
額田 吉範（西軽部）
中原 淳（黒本）

選挙管理委員会委員補充員

作本 健二（桜が丘西）
永宗 清人（岡）
花谷雄二郎（岡西）
大林 登（山口）

教育委員会委員

馬場 駿（穂崎）
渡辺 勝也（五日市）
吉田 重隆（東軽部）
矢部 恭輔（千鉢）
小原 捷一（福田）

固定資産評価審査委員会委員

木津 恒良（斗有）
野田 博（桜が丘西）
中島 鎌一（坂辺）
鈴木 昭（桜が丘東）
杉本 茂（仁堀西）

監査委員

津島 信義（中島）
実光 守（小鏡）

222件の 条例を制定

また、町から市へ移行し、議員としての職責は、大幅に重くなるため妥当と考え決定した。

熊山英国庭園条例

問 コラボレーション熊山（有）とはどういう会社なのか。

また、この会社とどういった協定を結んでいるのか。

答 コラボレーション熊山（有）は、旧熊山町が700万円、70%。共栄商工株式会社300万円、30%の出資をして平成12年1月24日に設立した第三セクターの会社である。赤磐市熊山英国庭園の管理については、コラボレーション熊山（有）が管理しているが、協議書は結んでいない。
資本金は1000万円、正社員3名である。

財政調整基金条例

問 特別会計の基金条例を除き、合計14にも及ぶ基金の総額は幾らになるのか。

また、今後どのような考えをもって、これらを運用していくのか。

また、今後どのような考えをもって、これらを運用していくのか。

情報公開条例

問 合併前の情報公開については、何も書かれていないがどうするのか。

答 旧町より承継された合併前の情報、これにつきましても当然公開の対象として、この条例の適用を受けない公文書、合併前の情報は、希望があれば開示したい。

市営バスの有償運行及び管理に関する条例

問 現在の契約内容また収支状況等をおいっつまんて説明してほしい。

また、今後どのような考えをもって、これらを運用していくのか。

答 特別会計にかかわる基金を除いた基金の総額は、平成17年3月31日現在で54億円程度と推測している。今後はこれらの基金については、目的基金の状況を判断しながら、不要になれば条例の廃止、また必要になればその都度議会に条例を提案し制定を考えていく。

赤坂天然ライス基金条例

問 赤磐市と天然ライスとの関係と、経営状況をおいっつまんて説明してほしい。

業者と受託者との関係などの安全管理はどのように対応するのか。

業者と受託者との関係などの安全管理はどのように対応するのか。

赤坂天然ライス基金条例

問 赤磐市と天然ライスとの関係と、経営状況をおいっつまんて説明してほしい。

答 使用料の統一については、これから検討していく。

株主、持ち株は、全農の岡山県本部が67%、旧赤坂町が14.5%、パルライスが7.4%、（株）銀杏家が7.4%、中国銀行が3.7%ということで、資本金額は9500万円である。地域産米・食材の使用を義務づけてあり、仕入れ価格等の高騰により経営が圧迫されて苦しい状況である。



赤坂天然ライス

赤磐市初代議員

議長



26
山田 秀士(63)
山陽

副議長



13
武本 一郎(57)
奥吉原



1
大口 浩志(41)
由津里



2
松田 勲(45)
桜が丘西



3
小倉 博(46)
穂崎



4
北川 勝義(51)
周匝



5
井上 稔朗(53)
周匝



6
川澄 章子(54)
桜が丘東



7
山下 浩史(54)
周匝



8
小引 美次(55)
松木



9
福木 京子(55)
山陽



10
佐藤 武文(55)
正崎



11
岡崎 達義(55)
桜が丘西



12
下山 哲司(56)
草生



14
小田 百合子(58)
桜が丘西



15
実盛 祥五(59)
沢原



16
黒崎 明(61)
西中



17
桜野 志郎(61)
山陽



18
羽原 章(61)
町刈田



19
西山 和嘉(62)
黒本



20
海野 雅之(62)
山陽



21
荻田 敏正(63)
西中



22
藤田 圭右(65)
河本



23
森 重信(68)
東窪田



24
下村 脩(69)
吉原



25
実光 守(71)
小鎌

議席番号・氏名(年齢)・住所

各委員会構成

■産業建設常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	北川勝義
副委員長	小倉博
委員	実光守
〃	下村脩
〃	荻田敏正
〃	川澄章子
〃	井上稔朗

■文教常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	海野雅之
副委員長	羽原章
委員	樫野志郎
〃	黒崎明
〃	岡崎達義
〃	松田勲

■下水道整備等調査特別委員会

役職名	議員氏名
委員長	黒崎明
副委員長	下村脩
委員	その他議員全員

■議会広報編集特別委員会

役職名	議員氏名
委員長	井上稔朗
副委員長	小田百合子
委員	武本一郎
〃	羽原章
〃	岡崎達義
〃	山下浩史
〃	松田勲

■議会運営委員会

役職名	議員氏名
委員長	下山哲司
副委員長	小倉博
委員	武本一郎
〃	佐藤武文
〃	小引美次
〃	北川勝義
〃	海野雅之
〃	森重信
〃	羽原章

■総務常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	佐藤武文
副委員長	山下浩史
委員	山田秀士
〃	実盛祥五
〃	下山哲司
〃	大口浩志

■厚生常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	小引美次
副委員長	福木京子
委員	森重信
〃	藤田圭右
〃	西山和嘉
〃	小田百合子
〃	武本一郎



ご挨拶

議長 山田秀士

新生赤磐市議会の議長に選任いただき、身に余る光栄と身の引き締まる思いがいたして、おりますと同時に、初代議長としての責任の重大さを痛感いたしております。

この上は、法令・規則等を遵守し、公正・公平な議会運営に努めてまいると同時に、議論を尽くし、議会の本分である執行部に対する「チェック」機関としての機能を発揮しながら、今回の合併理念に基づき、執行部とも協力しながら、住民福祉の向上に努めてまいるのであります。

合併により誕生したことで、新生赤磐市の将来への展望は開け、可能性が高まったと思えます。旧四町の長所を活かし、短所を補つ

て発展していくことが大切です。都市化が進む南部と、過疎・高齢化が進む北部との格差の解消、都市基盤の整備や農業振興等、多くの課題があります。26人の議員がお互いに切磋琢磨しながら意見集約を図り、一つひとつ真剣に取り組み、市民の皆様の議会に対する信頼に応えてまいるのであります。

今後とも、議会に対して暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

9月定例会のお知らせ

次回9月定例会は、9月6日から10月4日まで、29日間の会期で開催予定です。

多くの皆様の傍聴を

お待ちしております。



熊山(507・8m)は、「備陽国志」に国中第一の大山なり、と記されている。国指定史跡の石積遺構や南北朝時代の児島高德拳兵の地として名高いが、かつて「帝釈山靈仙寺」という名刹があった事は一般にはあまり知られていない。

この寺は天平時代に鑑真和尚が開基したとされ、熊山山上の熊山権現社と神仏一体となつて祭られていた。寺僧は一般の宮司以上の権限を持ち社領20石と、広大な山林を有した格式高い権現社の社僧として任えた。

明治14年神仏分離により山上の権現社は山麓の「東光山薬王寺」の境内に新築された本堂・拝殿に移された。その後熊山山上は大國主命を祭る熊山神社となつている。

熊山(507・8m)は、「備陽国志」に国中第一の大山なり、と記されている。国指定史跡の石積遺構や南北朝時代の児島高德拳兵の地として名高いが、かつて「帝釈山靈仙寺」という名刹があった事は一般にはあまり知られていない。

霊仙寺の盛時をしのばせる貴重なものとして、県下最古の宝篋印塔や数基の五輪塔が現存している。寺外に流出したものは、梵鐘が総社市井山宝福寺に、寺院内陣を飾る華鬘が瀬戸内市千手弘法寺にみられる。

毎年4月の春の大祭では勇壮な神輿がみられるが神仏一体のなごりとし

たいむすりっつぷ

No.1

て辨と線香を供えているのもぜひ目にとめてほしい。(武本一郎)

(注) 備陽国志
岡山藩主池田綱政が1737年(享文2)冬、家臣和田正井、市権直友、杉浦長、佐分利和孝、熊沢正業、和田正徳らに命じて、領内の地誌を記述させたもの。
※岡山県大百科辞典より



あ
と
が
き

平成の大合併により赤磐市が誕生。厳しい選挙戦を経て、市民の皆様の代表として4月17日に26人の議員が選出されました。各議員は皆様のご期待に応えるべく新たな気持ちを持って活動をスタートしています。

議会広報編集特別委員会では「市議会だより」を通して、議会内での議論の状況や議員の活動を分かりやすくかつ正確にお伝えすることを心がけます。

「市議会だより」へのご意見やご要望を議会事務局までお寄せください。

(井上稔朗)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 井上 稔朗
- 副委員長 小田百合子
- 委員 武本 一郎
- 委員 羽原 達義
- 委員 岡崎 浩史
- 委員 山下 浩史
- 委員 松田 勲